おてしょ便り

20号

「初売」

N.

一月二日、戦前は朝三時頃起床し三時に開店した。店先きに鬼灯提燈をぶらさげて、工場の若い衆も総出で街を通る人に「いらっしゃい〳〵」と景気付けし景品も赤い毛氈の上に階段状に飾りあげ買物をする客と金高を見て番頭が景品を選ぶ。そして縁起ことばはやして客に渡すのである。子供達も競って景品ほしさに醤油を買いに来た。近在の人は一升徳利を持って来てそれに醤油八合などという買い方をした。勿論おまけが入るので一升ぐらいになるのを当てにしてである。柏崎で初売を行事化したのは何代か前の当主といわれており当時の二日は当家の店頭は他の商店と違った賑やかであったそうである

（当家の歳時私録より）

「食べることを大事にする」

現代人は「何かを得る」ことにより「何かを失ってきた」ように思われます。おそらく、戦後の日本は今の中国の様に目も回る程の速さで人々の暮しぶりが経済大国になるに反比例して「ゆっくりとした」価値感がどこか（置き）ざりにされ自分だけがこの流れに逆うことが困難になりました。

しかしここ最近振り子のように揺り返しが起き始めました。「食のありよう」もその一つです。当店のある柏崎でも官民一体で問題提起とその解決に活動しております。

・男性にも料理することに関心を持ってもらう。
・手間ひまかけた地域の食を楽しむ
・家族皆で食卓を囲む
・成長期の子供達に食育で正しい食習慣を形成する。
・自分で正しい食を選択できることなどその他にも色々と地域の食の改善の輪を広げております。

「えとせとら」

～味噌屋かりんのひとり言～

母の実家に新年の挨拶に行った際、玄関口に大きな門松が立っていました。親戚の方が作ってくれるそうですが、本当に見事なものです。手間のかける正月かざりは、時代と共に簡略化されてきている気がしますが、その門松には、「これぞ日本の正月だ！」と言われているかのような威風堂々としたたたずまいを感じました。

それでは、本年も宜しくお願い申し上げます。

越後みそ西 西本町店
〒945-0066 柏崎市西本町1丁目3番21号
TEL/FAX 0257-21-0039
http://www.echigomiso.net